

2019 年 5 月 16 日

○ 5月定例所長会見における発電所長挨拶内容

○ 所長の設楽でございます。

○ 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。

○ 本日、私からは2点お話しをさせていただきます。

○ まずはじめに、安全対策工事の状況についてです。

当所では現在、7号機を中心に耐震強化工事、火災防護対策、内部溢水対策など様々な安全対策工事を鋭意進めております。

7号機原子炉建屋大物搬入口については、耐震強化工事の前段として実施する搬入口本体の解体作業に、先月下旬より着手いたしました。

大物搬入口については、7月上旬までに解体作業を終え、その後、基礎地盤の地盤改良を行います。耐震性を高めた新たな搬入口の設置については、2020年9月頃までを目途に完了する予定です。

このほか、大物搬入口の近傍では、既に燃料移送系配管ダクトの地盤改良工事に着手しておりますが、配管ダクトと隣接する軽油タンクやフィルターベントについても、設備周辺の地盤改良工事を進めております。

○ 次に、昨年度に実施した発電所の広聴広報活動の実績についてです。

当発電所では、地域の皆さまと直接お会いし、皆さまからのご意

見、ご要望をお伺いするために、様々な対話活動に取り組んでおります。

昨年度では、全戸訪問や各地区で実施したコミュニケーションブース、当社施設で実施したサービスホールイベントや映画鑑賞会などの活動を通じて、延べ約7万5,000名の方とお会いし、発電所に対するご意見などを伺ってまいりました。

また、私どもの発電所で進めている安全対策について、少しでも多くの皆さまに、現在の状況を直接ご覧いただくことにも力を注いでおり、昨年度では、約12,000名の方々に発電所をご視察いただいております。

こうした中、10連休となった今年のゴールデンウィークにおいて、発電所サービスホールには、期間中にイベントを開催したこともあり、約4,800名と大変多くの皆さまにお越しいただきました。また、お越しいただいた方のうち約800名の方々には、発電所見学ツアーに参加いただき、当発電所の安全対策の状況を直接ご覧いただくことができました。

イベントに参加された方からは、「イベントがあると原子力のことをよく知らない子供たちも話を聞く良い機会になるし、大人も知識を得られて楽しめる」「見学をしてみて、地域の人を安全を考えて、安全対策を一生懸命行っていると思った」等のご意見をいただいております。

今後も、様々な機会を通じて、一人でも多くの皆さまと直接お会いし、対話をしてまいりたいと考えております。そして、皆さまのご意見やお気持ち等をお聴きし、疑問におこたえするとともに、発電所の状況等をわかりやすくご紹介し、ご理解いただければと考えております。

○ 本日、私からは以上です。

以 上